

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月17日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【No. 2ろ過水タンクの供給配管接続部からの漏えいについて】</p> <p>協力企業作業員が作業現場に向かう途中で、No. 2ろ過水タンクの供給配管接続部からの漏えいを確認。漏えい箇所より上流側にある弁を全閉し、漏えい停止を確認。</p> <p>漏えいした水はろ過水のため、放射性物質の流出はない。</p> <p>原因は、何らかの要因によって配管の芯ズレが発生し、配管接続部からゴム継手が外れ漏えいに至ったものと推定。暫定対策として、別箇所より消防ホースを敷設し、ろ過水を取水可能か関係各所と調整中。</p> <p>今後、当該接続部を交換予定。</p> <p>また、本不具合に至った原因調査を実施し、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	6月11日
2	<p>【5号機原子炉建屋床サンプ(B)ポンプ(A)の汲み上げ不良について】</p> <p>当直員が、5号機原子炉建屋床サンプ(B)ポンプ(A)が通常(通常10～15分程度)より長時間の連続運転をしていること、および、汲み上げ先タンクの水位が上昇しないことを確認。</p> <p>床サンプ(B)ポンプ(B)の逆転(※)がないことで通常ラインに問題がないことを確認したため、床サンプ(B)ポンプ(A)の汲み上げ不良と判断。</p> <p>床サンプ(B)のポンプを(A)から(B)に切替えて汲み上げを実施したが、汲み上げ先タンクの水位が上昇しなかったため、ポンプ(A)を確認したところ逆転していることを確認。</p> <p>床サンプ(B)ポンプ(A)の逆止弁を打診し逆転の停止を確認。</p> <p>その後、床サンプ(B)ポンプ(B)にて汲み上げ完了を確認。</p> <p>床サンプ(B)ポンプ(B)にて、汲み上げが問題ないため、系統機能に影響なし。</p> <p>今後、床サンプ(B)ポンプ(A)の分解点検を実施し、汲み上げ不良の原因調査を行う。</p> <p>また、床サンプ(B)ポンプ(A)吐出逆止弁の開固着も確認されたことから、分解点検を実施。</p> <p>※逆転: 本来の回転する方向とは逆方向に回転している状態。</p>	GⅢ	6月13日